

図書館アクションプラン

民意無視の計画は見直すべき!

鶴川駅前図書館に 指定管理者導入

市民から提出された「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の見直しを求める請願が、第1回定例会に続き継続審査となりました。審議を通じ、重大な問題点が明らかになりました。図書館アクションプランは、鶴川図書館廃止とセットで鶴川駅前図書館に指定管理者制度(民間)を導入する内容です。茨城県守谷市など複数の自治体では、導入した指定管理者制度がうまくいかず、直営に戻しています。

生涯学習審議会、図書館協議会の理解と合意抜き

すべての市立図書館の管理運営を直営から指定管理者に段階的に移行していく



鶴川駅前図書館がある和光大学ポプリホール鶴川

「アクションプラン」の内容については、生涯学習審議会や図書館協議会では時間をかけた十分な協議は行われず、賛成した委員はほとんどいませんでした。専門家のみ皆さんの理解と合意を経ずに行った市教育委員会の決定は認められません。

これからの市立図書館のあり方は、 市民、専門家参加で作り直すべき

「ポストコロナ」の地域には、子どもも高齢者も通える図書館が必要です。図書館を減らしたり、経営が不安定な民間にゆだねたりするのではなく、市が責任をもって図書館を管理運営し、図書購入費を増やすなど、魅力を向上させることです。「図書館アクションプラン」は見直し、市民が誇れる図書館のあり方を市民、専門家参加で作り返すべきです。

これでいいの? 芹ヶ谷芸術の杜、 博物館を解体、障がい者追い出し (仮)国際工芸美術館に30億円超!

芹ヶ谷公園の芸術の杜の整備事業は、民間主導のプロジェクトで公園全体を「アート」にしようという計画です。国際版画美術館の一部をとり壊し、34年間運営してきた「障がい者の就労喫茶店」が突然立ち退きを求められました。本町田にある市立博物館を解体し、30億円を超える(仮称)国際工芸美術館を新たに整備

する内容です。日本を代表する建築家、山口文象氏設計の市立博物館の存続、障がい者喫茶「けやき」の存続を求めます。



芹ヶ谷公園・国際版画美術館の中にある喫茶「けやき」(右手前)

統廃合ありきの「新たな 学校づくり」はやめて

市教育委員会は、20年後の少子化と学校の老朽化を理由に、小学校42校を26校に、中学校20校を16校に減らす通学区域の見直し(案)を盛り込んだ「新たな学校づくり」に関するアンケート調査を保護者に対し実施しました。市立学校の適正規模適正配置審議会は、小学校の適正規模について、「12〜18学級」を「18〜24学級」に変更することを前提にしています。答申は、21年4月の予定です。全年齢を少人数学級にすれば、統廃合の必要はありません。統廃合ありきの「新たな学校づくり」はやめて、20人学級を実現しましょう。各地域の計画案については、こちらのQRコードから確認できます。



共産党 提出 「持続化給付金の事務委託をめぐる 問題の真相究明を求める意見書」可決

新型コロナ感染の影響が大きい中小企業等への持続化給付金支給の事務委託が問題になっている。769億円で落札した一般社団法人サービスデザイン推進協議会は、広告大手・電通に749億円で再委託、さらに子会社に外注している。中小企業庁の前田泰宏長官と推進協議会の平川健司業務執行理事との関係や経済産業省が再委託等を把握しないまま事業が進められていた問題など、経済産業省と広告大手・電通との「癒着」ともいえる関係が疑われている。町田市議会は、持続化給付金の事務委託をめぐる問題の真相究明を求めるものである。(要約版)

コロナ減収で 市税徴収猶予実施

コロナ感染拡大の影響で事業等の収入が減収(前年同期比の20%以上)になって納税が困難になった場合、1年間、地方税が徴収猶予される特例を含む市税条例の改正が行われました。徴収猶予の期間について、国は2021年1月31日までとしていますが、町田市は、附則の改正で、3月31日まで2カ月延長します。徴収猶予の「特例」は申請が必要です。



無料法律相談

9月9日(水)・23日(水)

10月14日(水)・28日(水)

どうぞ
お気軽に

午後2時~5時
町田市役所3階
共産党会派室

※会場が変更になる場合がありますので、必ずご予約ください。

☎042-723-6312



殿村健一市議 細野りゆう子市議 佐々木とも子市議 田中美穂市議

私たちも相談をお受けします 724-4030 日本共産党会派室

*今議会で、政務活動費を50%削減する条例改正が可決。本号は、経費節減のため単色刷りとなります。